

大分県 イセエビ増殖礁 調査報告書（2回目）



1. 目的

大分県では宮崎県と協力して、9月～11月にかけて「東九州伊勢えび海道 伊勢えび祭り」を開催するなど、イセエビは大分県の重要な水産資源となっています。しかし、近年九州では、温暖化や藻場の減少からイセエビの漁獲量は減少傾向にあります。安定した漁獲量を得るためにはイセエビが快適に生息できる棲み場が不可欠です。

2. 設置場所

大分県中央部

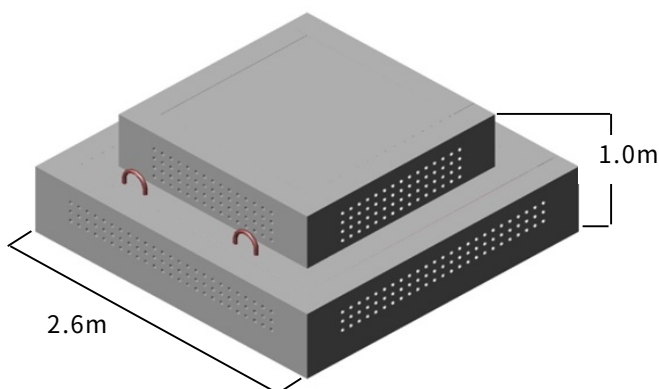
3. 設置時期・水深

平成30年3月28日 （水深 約9m）

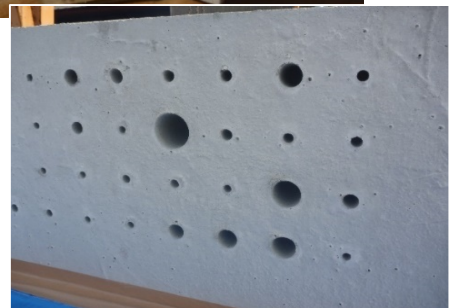
4. 調査対象増殖礁の概要

稚エビ礁

国立研究開発法人 水産研究・教育機構が特許を取得している稚エビの巣穴（凹部）をコンクリート側面に設けた稚エビ対象の増殖礁です。



※(国研)水産研究・開発機構により特許権使用受諾を受けています。



5. 調査期日

令和2年3月17日 （設置後 約2年経過）

6. 調査結果

礁体は安定した状態で設置されていました。

